

2026年3月26日

## 電通と X-HEMISTRY、スマートホームの普及とマーケティング活用に関する 戦略的パートナーシップを締結

ー 生活者の実行動データに基づく商品開発などで、より良い暮らしを目指すー

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：佐野 傑、以下「電通」）と、スマートホーム領域において、事業立ち上げから実装、伴走まで行う専門家集団として 2019 年の設立以降、さまざまな企業の事業をサポートする X-HEMISTRY 株式会社（所在地：東京都豊島区、CEO：新貝 文将、以下「X-HEMISTRY（ケミストリー）」）は、家電や住宅設備をネットワークでつなぎ、暮らしを高める次世代技術「スマートホーム」を通じてより良い暮らしを目指す、戦略的パートナーシップを締結しました。電通の行動データを活用したマーケティングや AI による体験設計の知見と、スマートホーム領域で豊富な実績を持つ X-HEMISTRY の事業における企画力・推進力を掛け合わせることで、生活者の実行動データに基づく商品開発などを加速させ、企業におけるスマートホーム関連事業の成長とマーケティング活用を一気通貫で支援します。

**X-HEMISTRY**

次世代のスマートホーム体験を  
創る事業開発の伴走支援

**HAUS UPDATA**

生活体験の向上を目的とした  
データ構築とマーケティング活用

**dentsu**  
tokyo/osaka/nagoya

世界のスマートホーム市場はプレジデンス・リサーチ社<sup>\*1</sup>によると、2024 年時点で 1276 億 7000 万ドル、2034 年までに 1 兆 4045 億 9000 万ドルへと成長し、年平均成長率 27.1%、約 11 倍という高い伸びが見込まれています。また、日本市場についても IMARC Group 社<sup>\*2</sup>によると、2024 年の 81 億ドルから 2033 年には 226 億ドルへと拡大すると言われています。一方で、生活者にとっては、企業ごとに仕様が異なっていたり、導入によって得られる明確な体験価値が分かりにくかったり、企業にとっては、未開拓の分野で、事業を進めるための社内の羅針盤や判断軸決めが難しいといった課題があります。

これまで電通は、住宅・家電・消費財メーカー、センシングサービス事業者などと連携し、生活者の生活行動データを統合・解析することで「より良い暮らし」のアップデートを目指し、業界横断のスマートホーム共創プロジェクト「HAUS UPDATA（ハウス・アップデート）」※3を2024年5月から推進しています。住居に各種センサーやIoT家電を設置してスマートホーム化した上で、家電の利用状況・人の動き・日用品の使用状況・温度・湿度・照度などさまざまなデータを統合して分析する実証実験を、住宅メーカーや家電メーカーなど12社以上と行ってきました。居住者の暮らしをサポートする複数の役割を持つAIエージェントによる、一人一人に最適化された共創AI（チャットボット）も活用し、各種データが管理ダッシュボード上で一元的に生活者個人に共有されるため、居住者はより良い暮らしを送るためのサポートや生活習慣・趣向に合った商品提案を受けることができます。同時に、自身のデータを提供することの価値を実感しながら生活することが可能になります。

電通とX-HEMISTRYは今回の戦略的パートナーシップにより、次世代のスマートホーム体験の実装からマーケティング活用までを一気通貫で支援する体制を整備し、スマートホーム領域への新規参入や既存サービスの価値向上を強力にサポートし、次の2点の実現に貢献していきます。

#### 1. 「使い続けたいくなる」体験の創出と実装

スマートホーム分野における技術的知見・基盤実装力のある専門家集団であるX-HEMISTRYと、生活者データを活用したマーケティングや体験設計を強みとする電通のノウハウを融合。生活行動データを多角的に統合・分析し、居住者の課題を解決するAIエージェントを進化させることで、生活者が「使い続けたいくなる」スマートホーム体験を実現します。

#### 2. 次世代マーケティングの実現

購買データだけでは捉えきれなかった「家の中での製品の使用・消費行動実態」を可視化。生活者理解を深めることで、顧客満足度の向上と、新たな商品開発やCRM（顧客関係管理）などの企業のマーケティング活動を支援します。

両社は今後も、電通のデータクリーンルーム・分析基盤、マーケティング支援のノウハウ、HAUS UPDATAなどで蓄積された膨大な生活者データの活用力・体験設計力と、X-HEMISTRYのスマートホーム分野における技術的知見・基盤実装力の融合を推進・拡張していくことで、生活者と企業双方の課題解決およびスマートホーム市場のさらなる発展に貢献していきます。

#### ■X-HEMISTRY 株式会社について

CEO：新貝 文将

設立：2019年9月20日

所在地：東京都豊島区池袋2丁目23-20 Apartment ふじ202

事業内容：スマートホーム事業に関するハンズオン支援／実行支援

<https://www.x-hemistry.com/>



「HAUS UPDATA」は、電通が提唱する、事業グロースのための次世代マーケティングモデル「Marketing For Growth」の4つのプロセスのうち、「Value Designing（価値構造設計）」、「360° Experience（体験設計実装）」に該当するサービスです。

「Marketing For Growth」については以下リリースをご確認ください。

<https://www.dentsu.co.jp/news/business/2024/0130-010682.html>

- ※1 プレシデンス・リサーチ社「Smart Home Tech 2025: Revolutionary Trends Unveiled!」2025年8月20日発行
- ※2 IMARC Group社「日本のスマートホーム市場規模は2033年までに226億米ドルを超えると予測 | 年平均成長率10.80%」2025年10月9日発行
- ※3 2024年4月26日発表：電通と日鉄興和不動産、生活者と住宅・家電・消費財メーカー各社をつなぐスマートホームプロジェクト「HAUS UPDATA」を始動  
<https://www.dentsu.co.jp/news/business/2024/0426-010721.html>  
2025年7月22日発表：電通、日鉄興和不動産、CAPCO AGENCY、電通マクロミルインサイトが主導 業界横断スマートホームプロジェクト「HAUS UPDATA 第2弾 実証事業」開始  
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2025/0722-010914.html>

以上

**【リリースに関する問い合わせ先】**

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 広報室 広報部  
河南、内田、前橋  
Email : [koho@dentsu.co.jp](mailto:koho@dentsu.co.jp)

**【事業に関する問い合わせ先】**

株式会社電通 データ・テクノロジーセンター  
前川、谷口、田中  
Email : [haus\\_updata@dentsu.co.jp](mailto:haus_updata@dentsu.co.jp)